

山村活性化支援交付金の取組事例

取組のポイント

- ◆産官学の連携により、蘭越町でのみ栽培されている新品種の赤紫蘇「リモチーソ」（品種名：下阿達（しもあだち））を活用した商品を開発
- ◆下阿達等の薬草植物の生産者確保に向け、試験栽培や町民向けの講演会を実施
- ◆福祉事業者と連携した地域雇用者数の確保

地区の概要

◆ 位置

北海道蘭越町（旧南尻別村）

◆ 活用した地域資源
赤紫蘇（下阿達）、延命草◆ 事業実施主体
蘭越町◆ 主な取組団体等
蘭越町、京都大学、
シミックHD（製薬関連事業者）◆ 事業実施期間
R4～R6

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆製薬企業と連携した薬用植物の栽培
- ◆薬用植物に関する講演会により町民の理解を促進
- ◆京都大学が開発したレモンの香りをもつ新品種の赤紫蘇「リモチーソ」を使った商品を開発



【講演会の様子】



【開発商品】

取組の特色

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆山の恵みプロジェクト事業を活用し、大阪・東京で大規模商談会や販売会に出展
- ◆開発商品のふるさと納税返礼品登録

【山の恵み販売会】
（R6東京）

【新聞掲載】

取組の成果

- ◆薬用植物を活用した新商品の開発 6品（ジン、ドリンクベース他）R6販売実績額3,334千円
- ◆雇用確保7人（生産企業4人、連携企業からの派遣3人）
- ◆R7年 大阪・関西万博内ORA外食パビリオンにおいてリモチーソ商品の試飲会を実施

取組のポイント

- ◆地元食材を使用した「町の特産品」と呼べる商品を開発するため「静農ブランド開発促進プロジェクト」に着手
- ◆農業高校・団体・町内事業者の連携による商品開発を実施
- ◆開発商品は新たな地域食品ブランド「静農ブランド」として、町内の販売のほか、ふるさと納税返礼品に登録
- ◆都市部でのPR活動を実施

地区の概要

◆ 位置

北海道新ひだか町
(旧静内町・旧三石町)



◆ 活用した地域資源
昆布、乳製品、ほか

◆ 事業実施主体
新ひだか町

◆ 主な取組団体等
北海道静内農業高等学校

◆ 事業実施期間
R4～R6

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 「静農ブランド開発促進プロジェクト」と題し、プロジェクト会議において関係者間で方向性を共有
- ◆ 農業高校の学習カリキュラムと連携し、高校生が企画・試作したものを地元事業者がブラッシュアップ、15品の新商品を開発



【プロジェクト促進会議】



【開発商品】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 札幌市内・大阪府でBtoCの販売会に参加
- ◆ 大規模商談会（東京ギフトショー）へ出展
- ◆ 新ひだか町ふるさと納税返礼品に登録



【町広報 R7年3月】



【販売会】

取組の成果

- ◆ 昆布などの地元食材を活用した新商品の開発 15品（ハンバーグ、たれ、せんべい、ジャム 他）
- ◆ 静農ブランド商品の販売額 1,321千円（R6実績）
- ◆ 参画事業者（共同開発事業者）11者

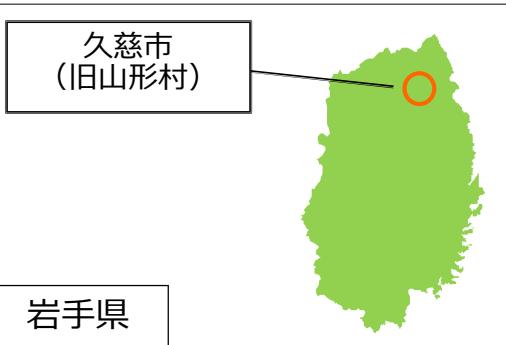
取組のポイント

- ◆生産農家の増加に向けた、インターンシップによる後継者の確保・育成、消費者を意識した生産体制や肥育方法等の見直し
- ◆「いわて山形村短角牛」のブランド化による認知度の向上、市内小学校での食育活動
- ◆すべての部位の活用に向け、これまで販売が難しかった部位（首、スネなど）を活用した商品開発

地区の概要

◆ 位置

岩手県久慈市（旧山形村）



岩手県

◆ 活用した地域資源
いわて山形村短角牛◆ 事業実施主体
山形村短角牛活性化推進協議会

◆ 主な取組団体等

- ・新岩手農業協同組合
- ・新岩手くじ短角牛生産部会
- ・JA新しいわてくじ短角牛肥育部会
- ・久慈市山形総合支所（産業建設課）

◆ 事業実施期間
R3～R5

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆県内大学生のインターンシップにより肥育体験を通じ後継者の確保・育成
- ◆市内小学校で食育活動の実施、「いわて山形村短角牛」の周知及び普及
- ◆一頭買いや半頭買いの実現に向けた「いわて山形村短角牛」の特徴を活用した商品開発



【インターンシップによる実習】



【食育活動の様子】



【料理メニューの試食会】



【ハンバーグ】



【ボロネーゼ】



【スマッシュバーガー】

取組の特色

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆近隣地域や首都圏のホテルでのイベントやフェアの開催
- ◆各メディアを活用した広報活動



【首都圏ホテルで開催された「いわて山形村短角牛」肉フェア】



【首都圏ホテルで開催された「いわて山形村短角牛」フルコース懇親会】



【首都圏ホテルの販促活動によりテレビ番組にて「いわて山形村短角牛」を使用した料理が放映された】

取組の成果

- ◆料理メニュー開発数 13品（スマッシュバーガー、レモンステーキ、ハンバーグなど）（R6実績）
- ◆新開発商品の販売額 4,219千円（R6実績）
- ◆インターンシップで受入れた学生のうち1人が地域おこし協力隊として久慈市で活動（R6実績）

取組のポイント

- ◆地域に継承されている伝承料理を特産品として商品開発を行い、伝統ある食文化を継承
- ◆地域の山菜等を活用した商品開発による、所得の向上、雇用の増大

地区の概要



- ◆ 活用した地域資源
うど、こごみ、白爵かぼちゃ他

- ◆ 事業実施主体
利賀地域山村活性化協議会

- ◆ 主な取組団体等
利賀地域づくり協議会、
特産加工組合他

- ◆ 事業実施期間
R4～R6

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆高齢者等へ特産品となる伝統食の聞き取り調査、商品試作
- ◆イベント参加による試作品アンケート調査



【商品開発に向けた試作】
【イベント(東京)で
アンケート調査実施
の様子】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆南砺市物産展フェア(名古屋市)で販売調査の実施
- ◆食文化体験交流会の地区内開催による地域文化の継承



【名古屋市内で物産展】
【食文化体験交流会
(報恩講料理)の様子】

取組の成果

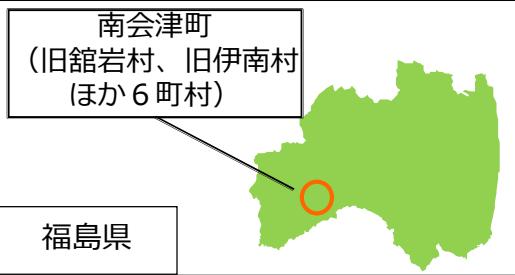
- ◆商品開発数及び既存商品改良数 14品(白爵かぼちゃ(カット切、ペースト)、利賀そばパスタ、
とがまん(中華まん)など)
- ◆特産品生産に関わる作業員数 0人(R4実績) → 1人(R6実績) ※対前比 皆増
- ◆伝統食交流会参加人数 288人(R4実績) → 95人(R6実績) ※対前比 皆増

取組のポイント

- ◆安価なパルプや木質バイオマス用材として利用されていた広葉樹（小径木やスポルテッド材（カビや細菌などによる黒い帯状の模様が入ったもの））を家具や内装建材、雑貨製品へ加工することにより付加価値が向上
- ◆高品質な木材生産に向けた生産技術向上により所得が向上、若年層の興味・関心を引き出し雇用を創出

地区の概要

- ◆位置
福島県南会津町（旧館岩村、旧伊南村）



- ◆活用した地域資源
広葉樹

- ◆事業実施主体
南会津広葉樹流通協議会

- ◆主な取組団体等
 - ・（株）アラカイ
 - ・湯田木材（株）
 - ・（有）佐川材木店
 - ・萬屋材木店
 - ・（株）山星林業
 - ・南会津森林組合
 - ・南会津町

- ◆事業実施期間
R4～R6

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆地域資源の現状把握調査、資源マップの作成による資源の適切な管理
- ◆高品質な木材生産に向けた生産技術向上のための研修会の実施
- ◆小径木やスポルテッド材を活用した商品開発



【スポルテッド製品（机）】



【ボールプール】



【ドローンによる資源量調査】



【ランプシェード】



【スポルテッド製品（フォトフレーム）】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆首都圏や南会津町内の商談会出展により新商品や南会津広葉樹をPR
- ◆海外の販路も視野に入れたECサイトの構築



【WOODコレクション（モクコレ）出展】



【WOODコレクション（モクコレ）出展におけるプロモーション動画】



【町内で開催したビジネスマッチング】



【開発したECサイト】

取組の成果

- ◆広葉樹を活用した新商品の開発 7品（スポルテッド製品、ランプシェード、置き型照明など）
- ◆素材生産における新規常勤雇用者数 1人（湯田木材株式会社）（R5実績）

※令和6年度非常勤雇用した4名のうち3名を令和7年度常勤雇用予定

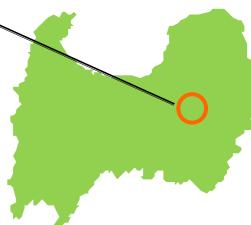
取組のポイント

- ◆白萩地域の樹木を活用した精油（香り）や芳香蒸留水、放置竹を活用したメンマ商品の開発を行い、上市町ブランドとして販路開拓
- ◆点在する自然の観光資源を最大限に活用することを目指し、観光資源の洗出しと新たな体験プログラムを検討し、観光客が滞在できる魅力的な観光ルートを開発

地区の概要

- ◆位置
富山県上市町
(旧大岩村、
旧白萩村)

旧大岩村、旧白萩村



富山県

- ◆活用した地域資源
森林、たけのこ、自然観光

- ◆事業実施主体
白萩地域山村活性化協議会

- ◆主な取組団体等
立山山麓森林組合、
(株)アロマセレクトデザイン
AROMASERECT、
(株)ティー・リー・コミュニケーションズ

- ◆事業実施期間
R3～R5

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆「香り文化」推進プロジェクトにより、販売・広報の強化、新規販路の開拓
- ◆純国産「メンマ」プロジェクトにより、試作品の成分分析やイベント時にモニタリング調査
- ◆地域内の自然観光資源を活用し新たな観光ツアーアイテムとなる観光ルートの現地調査



【アロマスプレー】



【メンマの試作品】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆イベント「香りの中の森」を開催し商品PR
- ◆町の商業施設での純国産「メンマ」試食会の開催による販売促進
- ◆新ツアーアイデアの企画・開催



【イベント「香りの中の森」の様子】



【試食会の様子】



【開発したツアーアイデアの様子】

取組の成果

- ◆新商品開発 8品（アロマスプレー(3)、つるぎ竹葉(3)、ごちそうの具(2)）
- ◆精油商品販売額 4,536千円（R3実績）→ 6,232千円（R5実績）※対前比 137.4%
- ◆メンマ商品の販売額 0千円（R3実績）→ 200千円（R5実績）※対前比 皆増%
- ◆新規雇用数 0人（R3実績）→ 5人（R5実績）※対前比 皆増%

取組のポイント

- ◆市内の竹を活用することにより、放置竹林を解消し、地域の環境・景観を改善することで、まちづくり活動の活性化や地域経済の循環を目指す「オクオカ竹プロジェクト」事業
- ◆荒廃した竹林を整備しながら、竹炭を餌に添加して育てたブランド豚、タケノコの加工食品、土壌改良材等の新商品を開発し、竹の新たな価値を生み出すことで、国土保全や地域経済に貢献

地区の概要

- ◆位置
愛知県岡崎市(旧額田町)

旧額田町



愛知県

- ◆活用した地域資源
竹

- ◆事業実施主体
岡崎市

- ◆主な取組団体等
オクオカ竹資源活用協議会等

- ◆事業実施期間
R4～R6

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆地域内の竹林賦存状況調査を実施し、竹林の分布状況図を作成
- ◆竹炭を餌に添加して育てたブランド豚「岡崎竹千代ポーク」を開発



【竹林分布状況図】



【岡崎竹千代ポーク】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆商品の販売促進及び竹林整備ボランティア募集を実施するHPを開設
- ◆販路拡大に向け、展示会への出展、広報誌及び報道媒体でのプロモーション活動を実施

【プロジェクトHPの開設】
【展示会の参加】
(SDGs AICHI EXPO)

取組の成果

- ◆竹資源商品・コンテンツ数 9個(岡崎竹千代ポーク、かぐや姫、バイオ竹炭等)
- ◆竹資源販売額 2,000千円(R3実績) → 8,700千円(R6実績) ※対前比435%
- ◆竹資源を新たに活用しようとする人 0人 → 6人(オクオカ竹資源活用協議会)

取組のポイント

- ◆飛騨市では、製紙用チップの材料として安価に販売されている小径（平均胸高直径26cm程度）の広葉樹資源に新たな価値を見出し、地域の新たな経済循環の創出を目指す「広葉樹のまちづくり」を推進
- ◆低温人工乾燥のみで広葉樹を製品化する技術を開発・実装することで、通常は伐採から約1年を要する板材製造期間を約3か月に短縮
- ◆「小径広葉樹短期乾燥化サイクル」を確立し、短納期かつ明確なトレーサビリティが確立された商品として新たな需要開拓を目指す取組

地区の概要

◆ 位置

岐阜県飛騨市(旧 小鷹利村・細江村・河合村・坂上村・坂下村)

旧 小鷹利村・細江村
河合村
坂上村・坂下村



岐阜県

◆ 活用した地域資源 飛騨地域産広葉樹

◆ 事業実施主体 飛騨市広葉樹活用推進 コンソーシアム

◆ 主な取組団体等 (株)飛騨の森でクマは踊る(広葉樹活用事業者) 他

◆ 事業実施期間 R3～R5

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆多様な広葉樹を同時にかつ短期間で乾燥させる試験を実施
- ◆短期乾燥材が通常材と遜色なく加工できるか、加工試験を実施



【短期乾燥装置】



【建築材 (森の端オフィス)】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆短期乾燥施設の利用促進の営業の実施
- ◆視察で訪れる関係者に対し、飛騨の森から伐採し、製材され・短期乾燥、加工に至るまでの流れを紹介する広葉樹視察ツアーの実施



【本運用に向けた広告】



【視察ツアー説明】

取組の成果

- ◆短期乾燥材を活用した試作品の開発 25件 (家具、建築材、小物類)
- ◆短期乾燥を含む広葉樹活用推進に係る雇用増加数 2人 (飛騨地域家具メーカー他)
- ◆飛騨地域産小径広葉樹材の販売取扱量 58m³ (取組前) → 535m³ (R5)

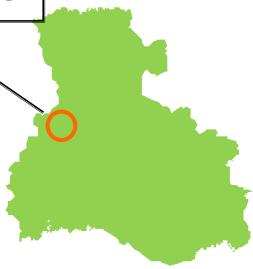
取組のポイント

- ◆環境や生態系への影響に配慮し、一般的な特別栽培米との差別化を図るため、ネオニコチノイド系農薬を使わない特別栽培米「ちくさの舞」「みかたの舞」のブランド化及び販売促進活動により販売力を強化
- ◆収穫期間が短い山椒の低樹高化による収穫作業の効率化について実証栽培を実施。幼木時から低樹高化の剪定を行っていた実証区の収穫作業性（時間あたりの収穫量）が対照区の約2倍であることを実証

地区の概要

- ◆ 位置
兵庫県穴粟市
(うち旧土万村、鳴沢村、染河内村、下三方村、三方村、繁盛村、西谷村、奥谷村、千種村)

旧千種村(ほか8村)



兵庫県

- ◆ 活用した地域資源
米、山椒

- ◆ 事業実施主体
穴粟市

- ◆ 主な取組団体等
生産農家、ハリマ農業協同組合、龍野農業改良普及センターほか

- ◆ 事業実施期間
R4～R6

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆山椒の低樹高化による収穫作業の効率化と安定生産についての実証栽培を実施
- ◆収穫期間内に摘み取れなかった完熟山椒を活用し、新商品を開発



【収穫の様子】



【開発加工品】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆SHISO BRANDとして特別栽培米専用米袋やPR動画の制作によるブランディング強化
- ◆各種展示商談会やコンクールに参加。特別栽培米がジャパンフードセレクションでグランプリ受賞



【ちくさの舞】



【受賞の様子】



取組の成果

- ◆特別栽培米の販売額：事業開始に伴い作付開始し、R6実績は28,762千円
- ◆特別栽培米のブランド力強化により、取組戸数及び栽培面積が増加。(R4 12戸, 6ha→R6 29戸, 18ha)
- ◆実証栽培結果を受けて、山椒の低樹高化を地域へ普及する基盤、体制が整った。

(山村活性化支援交付金) 未利用稚魚を活用したご当地サーモンのブランド化【広島県北広島町（旧芸北町）】

取組のポイント

- ◆海面養殖サーモンの稚魚として出荷できなかったオスのニジマスに着目、飼料や飼育方法を工夫し、成魚まで養殖、加工、販売までの体制づくりを推進
- ◆丸魚の切り身、各種商品のOEM加工体制を確立し、「芸北サーモン」というブランド名のもとブランド名を冠した各種商品を開発、販売を実施。生食サーモンは地元飲食店等へのB to B販路(※)も開拓 ※企業が他の企業を顧客とした販路

地区の概要

◆ 位置

広島県北広島町（旧芸北町）

旧芸北町

広島県

◆ 活用した地域資源 養殖ニジマス（オスの稚魚）

◆ 事業実施主体 大暮川源流協議会

◆ 主な取組団体等 ヒラト産業株式会社

◆ 事業実施期間 R4～R6



取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆消費者認知度の高いシェフによるサーモン料理の試作と消費者モニター調査による商品特性の洗い出し（臭みがない、あっさりしている、身に弾力がある等）
- ◆ブランディングのためのブランドロゴ作成（芸北サーモン）と商品展開



【ブランドロゴマーク】



【協議会メンバーでの試作品試食の様子】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆都市部（東京・広島）レストラン、道の駅等でのサーモン料理イベントへ出展
- ◆北広島町のふるさと納税返礼品に芸北サーモン関連商品を追加
- ◆生食用サーモンの宿泊施設、飲食店等への販路開拓（BtoB）



【レストランイベントでの食材PR】



【レストラン・イベントでの商品展示】

取組の成果

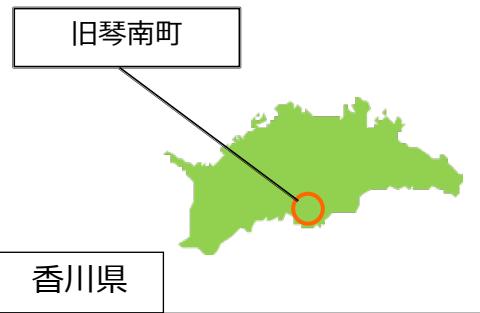
- ◆芸北サーモンを活用した商品開発 6品（生食サーモンフィレ、ピザ、缶詰4種：醤油煮、コンフィ、アヒージョ、スマーケ）。パッケージ改良：1（冷くんサーモン）
- ◆芸北サーモン関連商品の販売額：R4年度実績：0円 → R6：3,043千円（実績）。計画目標額の344%。
- ◆芸北サーモン商品販売に関する雇用 1名（ヒラト産業株式会社）

取組のポイント

- ◆過疎化、高齢化により荒廃農地となっていた土地を再生し、そば文化の復活とともに島が峰地区の原風景を次世代へ継承
- ◆そばの生産から加工、新商品の開発、「島が峰そば」のブランド化による販売促進戦略
- ◆そば打ち道場、そば栽培体験などの体験企画やPR動画の作成、店舗での飲食販売による普及活動

地区の概要

- ◆位置
香川県仲多度郡まんのう町
(旧琴南町)



- ◆活用した地域資源
そば、地元農作物
- ◆事業実施主体
島が峰の原風景を守る会

- ◆主な取組団体等
ことなみ未来会議、
(一財)ことなみ振興公社
- ◆事業実施期間
R3～R5

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆新商品開発とともに販売に向けてロゴマークを作成
- ◆そば打ち道場やそば栽培体験などの体験企画を実施



【島が峰そば(乾麺)】



【そば打ち道場開催】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆道の駅「エピアみかど」での開発新商品の販売
- ◆そば処「島が峰そば」をオープンし、実店舗による飲食販売や普及活動



【エピアみかどでの販売】



【そば処での飲食販売】

取組の成果

- ◆そばを活用した新商品の開発 2品 (島が峰そば(乾麺)、島が峰ぶりん)
- ◆島が峰そば(乾麺)等新商品における販売額 0千円 (R2実績) → 1,900千円 (R6実績)
- ◆そば処における飲食等販売額 0千円 (R2実績) → 740千円 (R6実績)

取組のポイント

- ◆連作障害に苦慮しているしょうがに代わる新たな地域資源として、たけのこ芋、山菜（コゴミ）の実証生産と、たけのこ芋等を活用した加工品及び調理メニューの開発
- ◆地元獣友会や近隣地に所在する解体所と連携したジビ工の安定供給体制の構築
- ◆農業の営みや自然等を活かした観光型農業体験等のプログラムを開発し、域外との交流や開発商品の販売を促進

地区の概要

◆ 位置

熊本県八代市（旧東陽村）

旧東陽村



熊本県

- ◆ 活用した地域資源
たけのこ芋、山菜（コゴミ）、ジビ工

- ◆ 事業実施主体
東陽ブランド化推進協議会

- ◆ 主な取組団体等
東陽まちづくり協議会
(株) 東陽地区ふるさと公社
(道の駅東陽)

- ◆ 事業実施期間
R3～R5

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 新たな地域資源を活用した加工品及び調理メニューの開発による付加価値の向上
- ◆ たけのこ芋、ジビ工等の安定した供給ができるよう、栽培、供給体制の確立



【開発商品】

【コゴミの栽培実証・
ジビ工の解体所との連携】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 農業の営みや日本遺産に登録された石橋を活用した観光型農業体験等様々な観光プログラムを試行
- ◆ 商談会への参加による販路拡大、イベントを活用した開発商品の販売促進



【東京インターナショナルギフト・ショー出展】

【ワーキングウィークデイ
(観光型農業体験)】

取組の成果

- ◆ 地域資源を活用した加工品及び調理メニューの開発 17品（たけのこ芋のババロア、猪肉のカレー 等）
- ◆ 商品化された青果・加工品の販売額及びツーリズムを活用した様々なイベントによる売り上げ増加額
1,000千円（R2実績） → 2,010千円（R5実績）※対前比201%
- ◆ バイク・自転車ツーリズムイベント等のグリーンツーリズム関係交流者数 50人（R2実績）→ 268人（R5実績）

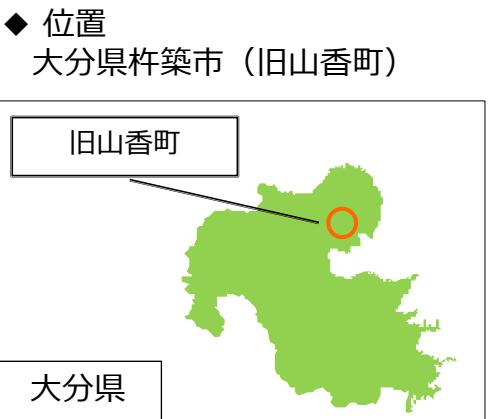
(山村活性化支援交付金) 竹林整備によるたけのこ生産の復活 と地域資源を活用した商品開発

きつき やまが
【大分県杵築市（旧山香町）】

取組のポイント

- ◆荒廃竹林を再生させ、たけのこ生産を復活させるとともに、果樹園の整備により、ゆずの生産体制を整え、たけのこやゆずを活かした商品開発により、地域資源の付加価値向上を実現
- ◆捕獲鳥獣（鹿、猪）を利用したジビエ肉販売、獣皮を利用した新たなクラフトづくりにより、地域内の雇用を創出
- ◆イベント出店及び狩猟体験ツアーにより、開発商品の販売促進や福岡及び東京の企業への販路拡大を図る

地区の概要



- ◆活用した地域資源
ゆず、たけのこ、ジビエ、獣皮

- ◆事業実施主体
山浦竹鹿猪活用協議会

- ◆主な取組団体等
山浦地区まちづくり推進協議会

- ◆事業実施期間
R3～R5

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆交付金外の事業として廃校を活用した加工場を整備
- ◆地域資源（ゆず、たけのこ）を活用した商品開発



【廃校活用施設を拠点にした商品開発】
【柚子胡椒と乾燥たけのこ】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆商品のブランディングを行い、イベントへの出店や、福岡・東京の企業への販売促進活動を実施
- ◆獣皮の利活用、ジビエファンの拡大を目指した狩猟体験ツアーを実施



【海辺のカモメ市（福岡）
や杵築市農林水産祭へ出店】



【皮製品と
ジビエツアー】

取組の成果

- ◆ゆず、たけのこ、獣皮を活用した商品の開発 19品（柚子胡椒、乾燥たけのこ、皮製品等）
- ◆乾燥たけのこ等の加工食品、皮細工等クラフトの販売額 0千円（R2実績） → 1,369千円（R5実績）
- ◆雇用数 1人 → 10人（食品加工者、特用林産出荷者、工芸製品出荷者）